### **Programming Boot Camp**

## Bubble と Vercel API をつなげよう

東京工業大学 2023/11/25

**Naotake KYOGOKU** 

### ここまでのラーニングフェーズで

- Bubble を使った Web アプリケーションの開発
- Vercel を使った Web API の開発

を学んできました。

ここまでの知識があれば、この2つをつなげることは皆さんならできます!

なので演習としてやってみましょう!

使用するのは

- 第2回で作った Bubble のアプリケーション
- 第4回で作った Vercel のアプリケーション(デプロイ済みのもの)

#### これらを組み合わせて下記の機能を実現してみましょう

Step1. ペットの一覧データを Vercel API から取得

Step2. ペットの詳細データを Vercel API から取得

Step3. ペットの登録を Vercel API で実行

Step4. ペットの体重表示 & 体重登録を Vercel API で実行

▲ 演習とするため、以降はヒントだけを記載しています

♪ 一通り開発ができた人から回答用の Bubble アプリケーションをコピーしてお渡ししますので答え合わせに使ってください

もしそれも余裕で終わったよ、という人はさらにアドバンスでこちら を進めてみましょう!

Step5.ペットの一覧を名前で検索

- こちらは Prisma の対応も行う必要がありますので、できれば誰か とペアで進めてみてほしいです
- 1人は Prisma 側の改修 🙋
- もう1人は Bubble 側の改修

## まず完成系のアプリケーションをお見せします・・・

## どの Step も、やることは大きく分けて 2 つです

- Bubble に Vercel API の接続設定を行う
- Bubble と Vercel API をつなげて画面表示を行う

# それではレッツトライ!

♠ もし、これまでのラーニングフェーズに一部、もしくは全て出席していない場合、下記を共有しますので必要な方は教えてください

- 第2回で作った Bubble のアプリケーション
- 第4回で作った Vercel のアプリケーション(デプロイ済みのもの)

## ここからヒントになります







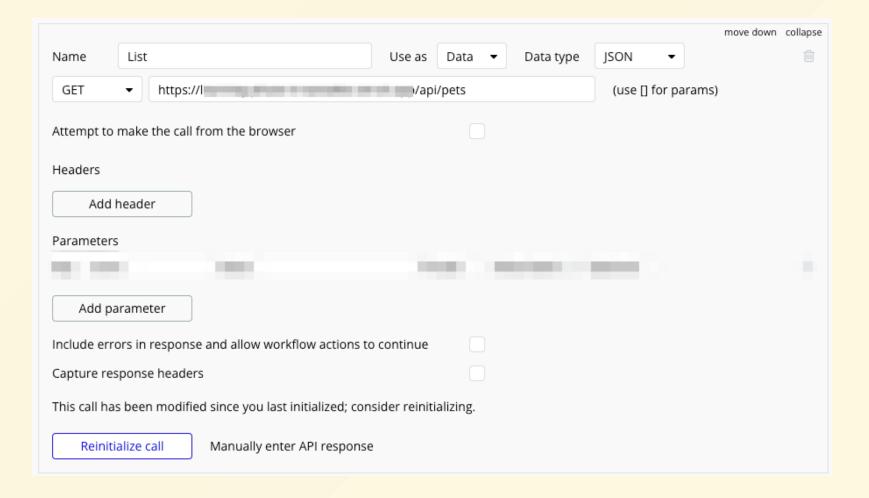








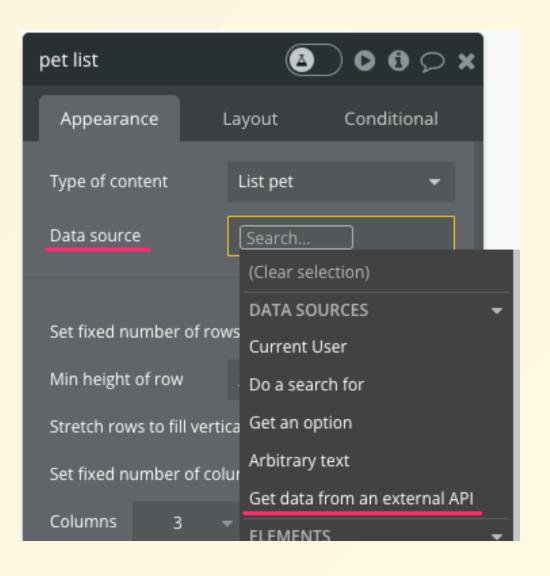
## Bubble の API Connector の設定内容はこんな感じ



各データ表示項目において Data source で API を呼ぶ 時は

Get data from an external API

でしたね。







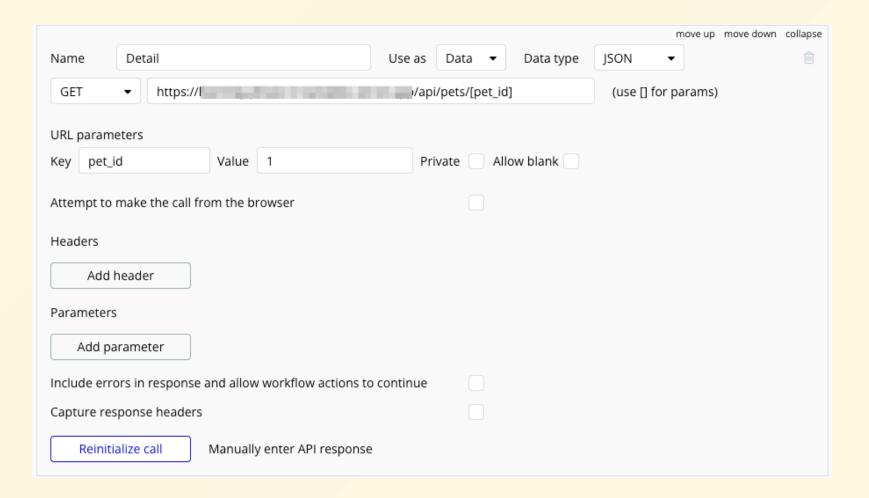








## Bubble の API Connector の設定内容はこんな感じ



- 一覧画面から詳細画面へ遷移する時に、ペットの ID だけを渡します
- 渡し方として Data to send は使えないため、代わりに Send more parameters to the page を使います
- そして、詳細画面側では「画面表示の時」に「URL パラメータで受け取ったペットの ID を使って、ペット詳細取得の API を呼び出します
- その結果を Bubble の Custom state という機能を使って詳細画面自 身に保存します
  - ※ここはちょっと難しいかも 🖖
- あとは詳細画面の各項目は、その state に保存された値から表示します













## Bubble の API Connector の設定内容はこんな感じ

													move up	move down	collaps
Nam	e	Regi	ster			Use as	Acti	on 🕶	Data typ	e	JSON	•			
PO	POST ▼ https://l						i/api/pets				(use [] for params)				
Head	ders														
	A -l -l l														
	Add he	eade													
Body	type	JSON	•												
Para	meters														
	Add para	ame	er												
Padu	//ISON o	hine	t 1150 <> f	ior dun an	nie valuos)										
		bjec	t, use <> i	or dynan	nic values)										
2	"pet":	{	" <pet_na< td=""><td>mo&gt; "</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><th></th><th></th><th></th><th></th><td></td></pet_na<>	mo> "											
4	"ima	geUi	1": " <pet_na< td=""><td>_image_</td><td>url&gt;",</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><th></th><th></th><th></th><th></th><td></td></pet_na<>	_image_	url>",										
6	<pre>1</pre>														
8	} OWI	ieriu	. '												
	,														
Body	parame	ters													
Key	pet_na	me		Value	tara	Pr	ivate		Allow blank						
Key	pet_im	age_	url	Value	https://www.google.	.com/ Pr	ivate		Allow blank						
Key	pet_bii	rthda	ау	Value	2023-11-23	Pr	ivate		Allow blank						
Key	pet_ge	nde	r	Value	Female	Pr	ivate		Allow blank						
Inclu	de error	s in i	response	and allov	w workflow actions to d	continue									
Capt	ure resp	onse	headers												
	D-1-1-1				481										
	Reinitial	ize c	all	Manuall	y enter API response										













## Bubble の API Connector の設定内容はこんな感じ

Name		Weight Register				Use a	s Action	ion 🕶	Data type	JSON ▼	ove up	move down	collapse
Name		VVCI	grit itegister			ose as Action bata type				,5014			
РО	POST ▼ https://le		https://lear	arning-phase-4-naotakke.ver		cel.app/	el.app/api/pets/[pet_id]/weights			(use [] for pa	rams)		
LIDI	parame	ters											
Key	pet_ic	i		/alue	1		Private	All	ow blank				
Head	ders												
	Add h	eade	er										
Body	type		JSON	•									
Para	meters												
	Add pai	rame	eter										
Body	(JSON	objed	ct, use <> for	dynam	nic values)								
1 2 3 4 5 6	"weig "we "pe	ht": ight' tld":	{ ': <weight>, <pet_id></pet_id></weight>										
Body	param	eters	5										
Key	weigh	it	V	/alue	12		Private	All	ow blank				
Key	pet_ic	i	V	/alue	1		Private	All	ow blank				
Inclu	de erro	rs in	response and	d allow	workflow actions to	continu	ie						
Capt	ure res	oons	e headers										
	Reinitia	lize (	call Ma	anually	y enter API response								

- ペットの体重表示は、ペットの詳細画面のために用意した API の結果に含まれているので、それを使えそうです
- ペットの体重登録は、ペットの登録と考え方は似ているのでそれを 参考にできますね











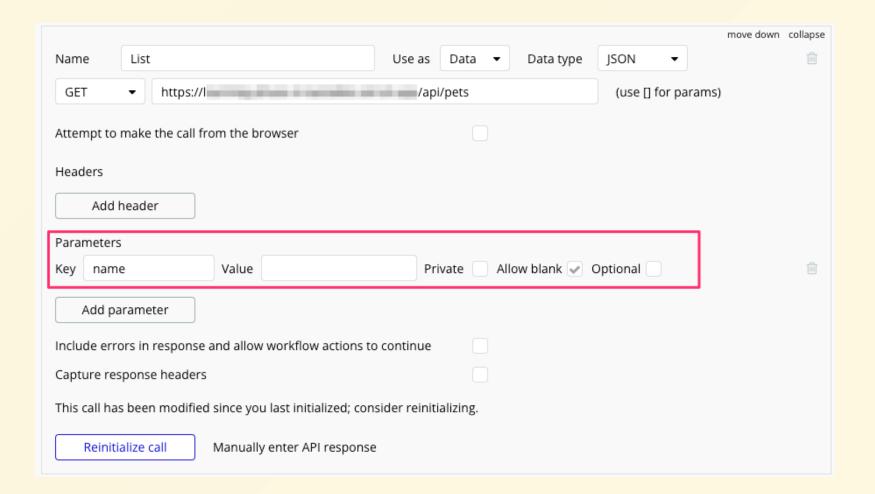


## Prisma 側の改修はこんな感じです

検索条件を追加した時の Pull request

## Bubble 側の改修はこんな感じです

• 上で用意した一覧取得の設定を変更する形です













# 以上です! お疲れさまでした!